

平成30年度第1回公共交通会議の議事要旨等について

報告事項

- 1 平成29年度第3回公共交通会議の議事要旨等については
 - ・意見なし
- 2 飛騨市市営バスの実績について（平成29年10月～平成30年3月）
 - ・資料により利用人数はわかるが、目的を付記しないと分析できない。この情報を共有して実際に乗っていない便を廃止していくことも考えられる。
 - ・全路線を調査していく事は困難だが、少ない路線について把握していく必要がある。
 - ・市営バスの状況はわかるが、濃飛バスの説明が不足している。
- 3 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果等について
 - ・路線の状況を把握できていないので執行管理をしっかり行ってほしい。
 - ・網形成計画はずっと続けていかなければならないので、飛騨市として何がしたいのか公共交通にどういう役割をもたせたいのかを明確にして、次期につなげる様にしてもらいたい。

協議事項

- 1 平成29年度決算報告
 - ・承認
- 2 平成30年監査員の指名
 - ・飛騨市社会福祉協議会 竹本一久委員とニュー飛騨観光バス㈱代表取締役社長 山村浩一委員で承認
- 3 平成30年度飛騨市公共交通会議予算案及び地域公共交通再編推進事業（再編計画推進事業）について
 - ・わかりやすいバス停の案内表示の作成は、事務局としては現在あるものが劣化しているので見やすくわかりやすいものに更新したいと考えている。
 - ・素人では無理なので玄人をいれて議論してはどうか。瞬時に情報かわるデジタルサイネージや電子ペーパーという手法などいろいろ検討してはどうか。
- 4 平成31年度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）生活交通確保維持改善計画」について
 - ・申請4路線の内、桃源郷線の目標値との乖離があったため網計画と整合性をとるため、網計画から抜粋したということを併記すること。
- 5 運行の変更について（神岡猪谷線 バス停の設置にかかる協議運賃の変更）
 - ・バス停の変更については了承されたが、ガッタンゴー駅をつくるのであれば濃飛バスのパックツアーに盛り込み、バス停が有効に利用されるようにすること。
- 6 福祉有償運送の新規登録の申請について
 - ・社会福祉法人神東会 理事長 古宿 稔として承認
- 7 飛騨市公共交通網形成計画及び飛騨市地域公共交通再編実施計画にかかる一部事業の見直しについて
 - ・神原線の開設のために、網形成計画上で柏原線の一部を減便することは可能。再編実施計画外で実証実験として柏原パーキングから古川駅まで、1年の期間（3年まで可能）で実施する。
 - ・ふるかわ循環乗合タクシーの見直しは、平成31年4月を目標最終として変更する。年明け1月に協議を行い手続きに入る。